基本目標5 ともに支えあい、いきいきと暮らせるまち

【基本施策】①地域福祉の充実

②健康づくり・生きがいつくりの推進

③共生協働・コミュニティ活動の推進

年 代	自 由 意 見
10 歳代	● 若者がつどえる場所が欲しい ● ジェンダー平等が認められてきた世の中にとって取り組みをいれることはとてもいいことだと思う。 ● 地域のつながりを強化させられるから。
20 歳代	● 市の文化祭の参加者は高齢者が多い。もっと 20～30 代の参加が増えるような工夫が必要。 ● 高齢者や障害者、子育て世帯などの潜在化しているニーズを積極的に発見し、市や地域住民で協力しながら包括的に支援していきけるような体制をより強くしていけるように取り組んでほしい。
30 歳代	● 鹿屋市文化祭などについてのポスターをもっと貼って周知して欲しい。 ● 地域によって民生委員やアドバイザーの関わりが近すぎる。 ● 串良町文化祭に行った時に空席の多さが気になった。市報でのアピールの仕方に工夫が必要だと思う。 ● 高齢者の数が圧倒的に多く、支えるだけの余暇がある人も仕事のない高齢者になってしまい、老老支援になりそうだと思う。若い人は自己責任の考えが広まり、また賃金が低く自分のことで精一杯なので、他者を支える余力はないと思う。できることはしたいとは思いますが、防犯意識やプライバシー重視で近所の人の名前も知らない。 ● 老人が老人をお世話する時代なので、第三者、四者の周りのサポートが必要になるだろうとは思っている。 ● 鹿屋市文化祭など、もっと多くの方に来場いただく工夫は必要だと感じる
40 歳代	● 高齢者の生きがいを促進するために在宅福祉が必要であるとともに、身近で集まれる場所づくりも必要だと思う。高齢になると考えもネガティブになりがちで孤立にもなりがちだとは思いますが、外に出て何か目的があるなら、生きがいや楽しみも高まるのではと思う。 ● もっとリナシティを活用した方が良い。 ● 文化とは、平和とはについてもっと活動をわかりやすく伝えてほしい。 ● リナシティに面白い人を呼んで欲しい。 ● 高齢者がどんどん増えていくので、その方たちのサポートが行き届くまちであってほしいです。 ● 若者にもっとアピールして欲しい。 ● 多くの人が興味をもてるようになるよう期待したい。 ● 誰にも何も相談できない人が多いです。何かに頼った瞬間に負け組です。 ● お金がある生活の家庭とお金に余裕がない家庭ではそのような取り組み方にも支障が出ると思う。

年 代	自 由 意 見
40 歳代	● 目標の題目に対しての具体的取組が見えない。 ● 地域の雰囲気からか他市町村から来た私達世帯は入りづらい。 ● 市民参加型の文化事業とは言っても市民のほとんどが参加していないのだから、参加するきっかけを作るべき。
50 歳代	● まだ昔の方が充実してたような気がします。 ● 畜産業の匂いが酷すぎる。 ● 取り組みに対する体制が分からないので期待しようがない。 ● 家庭環境で、子供達の貧困がないよう頑張ってください。 ● 高齢化社会でもあるので、安心して暮らせるまちづくりに期待したい。 ● 高齢者の方々がよく利用されてるみたいなので年取ってからかのコミュニケーションには良いことだとおもいます。ただ世代が変わればそれにあつたものが必要になるかとは思いますが。 ● とともに支え合って行きたい。 ● 高齢者が安心して住めるような取り組みを、どんどん考えてほしいし、外に出て、交流したり趣味をたのしんだりか、披露したりする機会が増えるといいです。 ● まだ仕事をしている世代には無縁だし、参加するタイミングも分からないから。
60 歳代	● 乳幼児期の福祉の充実が将来にわたる健康、生きがい、共生共同、コミュニティ活動の推進につながると考える。 ● 高齢者向けのなんでも代行のようなものが欲しい。車に乗らなくなった時など活用できるようにしてほしい。有識者の講演などをするべき。 ● 鹿屋は文化活動（コンサート等）が少なすぎると思う。あつても宣伝がわからない。ポスター等の使い方が少ない気がします。後で知ることが多い。 ● 志布志、都城市、小林市等の取り組みを少しでも見習って欲しい。 ● 高齢者見守りも、町内会任せである。 ● 草取りなどで忙しく、毎日あつという間で、そこらへんまで目も気も回らない。 ● 個人情報等もあり難しいだろうが、高齢化で大変な方が多いと思うので予算を削らないで欲しい。 ● 在宅福祉アドバイザーとは何ですか？何の活動をしているのか知らない。包括の仕事がちゃんとできていないと思う。 ● 地域行事に参加する若い人が年々減っていて、顔の分からないご近所さんが増えている。知らない人の中には中々参加できないので、ますます色んな活動に消極的になる。 ● 高齢独り暮らしの対象者への支援がやや不足。 ● 老後に期待がないと取り組みが出来ないと思います。 ● 地域のつながりが薄くなってる、あれこれと干渉はされたくないが、ある程度は、サークルみたいな活動の中で人と触れ合う機会があれば、参加したい。 ● これからも平和な鹿屋市になるといいと思います。

年 代	自 由 意 見
70 歳代	● サービス提供者の資質向上にも期待したい。 ● 年老いてしまった現在、これからは介護福祉に色々とお世話になることが確実ですので、その時は何を選択すればいいのかをそれなりに知識を得ているように努力したいです。 ● 高齢者よりの文化事業が多い（自分も高齢者ですが、それらに興味が無い）。20数年前、鹿屋に引っ越してきたが、その頃はコンサート（有名歌手、クラシック等）の催しがあったが、最近は演歌以外の開催を聞かないので少し寂しいです。 ● 市民講座の充実。 ● 市の文化祭等、毎年変化が無い。これ以上の発展もマイナスも見込めないような気がする。高齢者参加型のかのやん体験など、今年度から縮小化されたような気がします（年齢制限や回数等）。 ● 特に一人住まいの方は見守りがあると助かると思います。 ● 鹿屋市健康づくり推進員、民生員として特定健診の声掛け、高齢者への見守り等を市からの呼びかけに応じて実施している。
80 歳以上	● 家に引きこもりがちだったが、健康体操などに参加するようになってお友達もたくさん出来て、その日が待ち遠しく楽しい日があります。 ● ヒメとヒコの出演者の方々など、末は広い世界で活躍される方が出るのを楽しみにしております。